

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 10 月 12 日 (2006.10.12)

【公開番号】特開 2004-199033 (P2004-199033A)

【公開日】平成 16 年 7 月 15 日 (2004.7.15)

【年通号数】公開・登録公報 2004-027

【出願番号】特願 2003-306689 (P2003-306689)

【国際特許分類】

G 0 9 F 9/40 (2006.01)

G 0 2 F 1/13 (2006.01)

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

G 0 2 F 1/13357 (2006.01)

G 0 2 F 1/1347 (2006.01)

G 0 9 F 9/46 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 9 G 3/34 (2006.01)

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 F 9/40 3 0 3

G 0 2 F 1/13 5 0 5

G 0 2 F 1/133 5 0 5

G 0 2 F 1/13357

G 0 2 F 1/1347

G 0 9 F 9/46 Z

G 0 9 G 3/20 6 2 1 K

G 0 9 G 3/20 6 2 1 M

G 0 9 G 3/20 6 8 0 D

G 0 9 G 3/20 6 8 0 G

G 0 9 G 3/34 J

G 0 9 G 3/36

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 29 日 (2006.8.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発光素子を有する複数の画素が設けられた発光装置と、第 1 の液晶装置および第 2 の液晶装置とを有し、

前記第 1 の液晶装置は前記発光装置の表面に設けられ、

前記第 2 の液晶装置は前記発光装置の裏面に設けられたことを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

発光素子を有する複数の画素が設けられた発光装置と、第 1 の液晶装置および第 2 の液晶装置とを有し、

前記発光装置は、絶縁表面を有する透明基板上に形成され、
前記第1の液晶装置は前記発光装置の表面に設けられ、
前記第2の液晶装置は前記発光装置の裏面に設けられ、
前記第1の液晶装置および前記第2の液晶装置の少なくとも一方が、前記透明基板上に形成されたことを特徴とする表示装置。

【請求項3】

請求項2において、

前記第1の液晶装置および前記第2の液晶装置のうち透明基板上に形成された液晶装置は、前記透明基板において前記発光装置が設けられた面に形成されたことを特徴とする表示装置。

【請求項4】

発光素子を有する複数の画素が設けられた発光装置と、第1の液晶装置および第2の液晶装置とを有し、

前記発光装置は、絶縁表面を有する第1の透明基板の表面上に形成され、

前記第1の液晶装置および前記第2の液晶装置のうち一方は、前記第1の透明基板における表面と、絶縁表面を有する第2の透明基板との間に形成され、他方は、前記第1の透明基板における裏面と、絶縁表面を有する第3の透明基板との間に形成されたことを特徴とする表示装置。

【請求項5】

発光素子を有する複数の画素が設けられた発光装置と、第1の液晶装置および第2の液晶装置とを有し、

前記発光装置は、絶縁表面を有する第1の透明基板の表面上に形成され、

前記第1の液晶装置および前記第2の液晶装置のうち一方は、前記第1の透明基板における表面と、絶縁表面を有する第2の透明基板との間に形成され、他方は、絶縁表面を有する第3の透明基板および第4の透明基板との間に形成され、かつ前記第1の透明基板における裏面側に貼り合わされたことを特徴とする表示装置。

【請求項6】

請求項1乃至請求項5のいずれか1項において、

前記発光素子は、画素電極と、対向電極と、前記画素電極と前記対向電極の間に発光層とを有し、前記画素電極及び前記対向電極は透光性を有することを特徴とする表示装置。

【請求項7】

請求項1乃至請求項6のいずれか1項において、

前記第1の液晶装置および前記第2の液晶装置の外側に偏光板を有することを特徴とする表示装置。

【請求項8】

請求項1乃至請求項7のいずれか1項に記載の表示装置を有することを特徴とする電子機器。

【請求項9】

発光素子を有する複数の画素が設けられた発光装置と、前記発光装置の表面に設けられた第1の液晶装置と、前記発光装置の裏面に設けられた第2の液晶装置とを有する表示装置の駆動方法であって、

前記発光装置は、映像信号にしたがって映像の表示を行い、

前記第1の液晶装置および前記第2の液晶装置は、それぞれ透過モードまたは遮光モードをとることを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項10】

発光素子を有する複数の画素が設けられた発光装置と、前記発光装置の表面に設けられた第1の液晶装置と、前記発光装置の裏面に設けられた第2の液晶装置とを有する表示装置の駆動方法であって、

前記発光装置は、映像信号にしたがって映像の表示を行い、

前記第1の液晶装置および前記第2の液晶装置は、それぞれ透過モード、半透過モード

または遮光モードをとることを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項 1 1】

請求項 9 において、

前記第 1 の液晶装置および前記第 2 の液晶装置の一方が透過モードの時、他方は遮光モードをとることを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項 1 2】

請求項 9 または請求項 1 1 において、

前記第 1 の液晶装置および前記第 2 の液晶装置の遮光モードと透過モードの切り替えは、前記発光装置が映像の表示を行うフレーム期間に同期して行われることを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項 1 3】

請求項 9 または請求項 1 1 において、

前記第 1 の液晶装置および前記第 2 の液晶装置のそれぞれの遮光モードと透過モードの切り替えは、任意のタイミングで行われることを特徴とする表示装置の駆動方法。